

【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力 II Proでの障害時の設定】

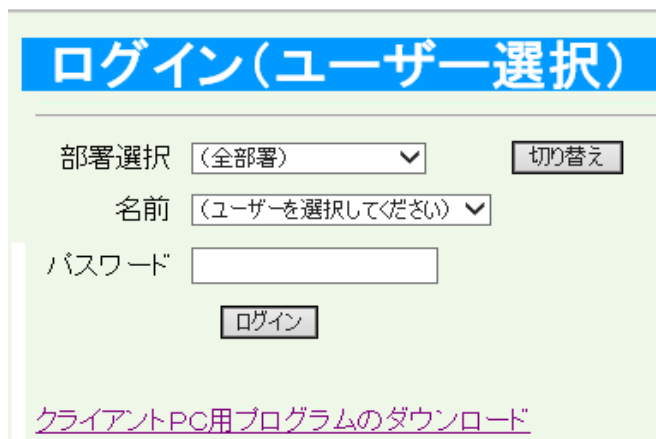
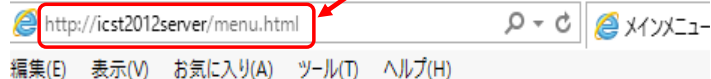
★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済みサイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・ブロック例外

1. インターネットオプションの設定 (Win10no場合、左下の検索バーで IE と検索してください)

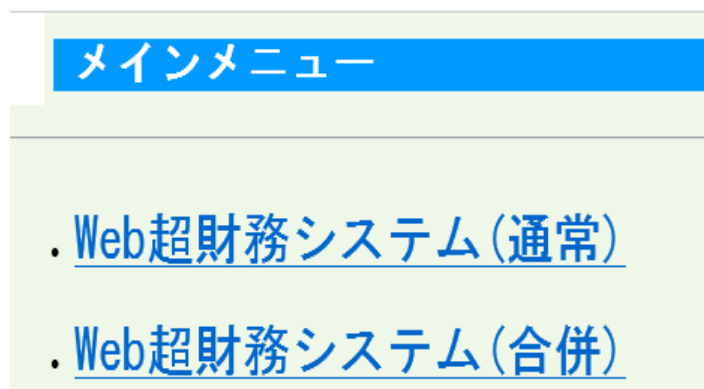
(1) Internet Explorer等のブラウザを起動して、「ログイン(ユーザー選択)」画面にしてください。

アドレスが「<http://icst7-2010/webzaimu/>」と御社用のURLをURLバーに入れてください。(すぐお気に入りに登録)メニューバーが出ていない場合は、Altキーを押してください。

赤字の部分は、御社サーバーのコンピュータ名かIPアドレスになります。

アドレスは、例) <http://192.168.2.191/webzaimu/>または、<http://icst2012server/menu.html>

or



IE初期設定マニュアルPDFが開きます (参考資料PDF)

(2) [ツール] メニューのインターネット オプションを指定してください。

ツールバーがない場合



【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力 II Proでの障害時の設定】

★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済みサイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・ブロック例外

2. 互換表示設定

(1) [ツール] メニューの互換表示設定を指定してください。



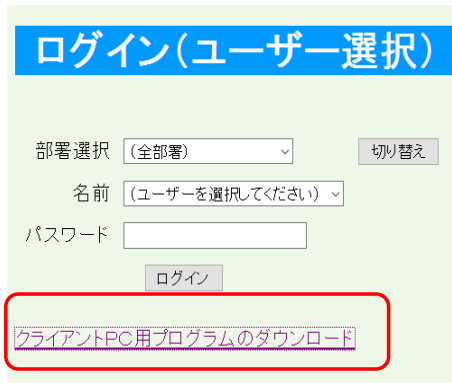
(2) 互換表示に追加したWebサイトを追加してください。(画面のズレや例外対応等)



【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力 II Proでの障害時の設定】

★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済みサイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・ブロック例外

3. クラウドPCへJAVAインストール（会計サーバ機はJAVAの差し替え不要です、差し替えは弊社システムがの指示に従ってください）
WEB超財務SUPERA を IEから起動してください。クラウドPC用プログラムのダウンロードを実施します。



ログイン(ユーザー選択)

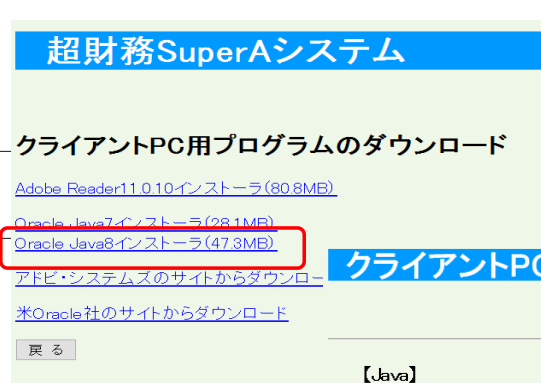
部署選択 (全部署) 切り替え

名前 (ユーザーを選択してください)

パスワード

ログイン

クライアントPC用プログラムのダウンロード



超財務SuperAシステム

クライアントPC用プログラムのダウンロード

Adobe Reader11.0.10インストール(80.8MB)

Oracle Java7インストール(28.1MB)

Oracle Java8インストール(47.3MB)

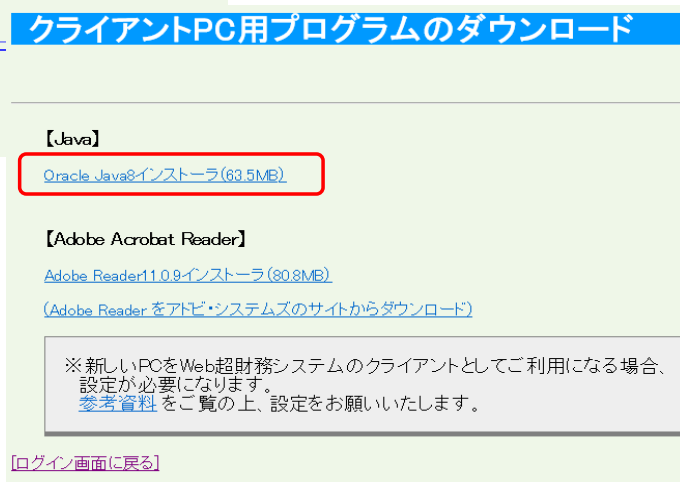
アドビ・システムズのサイトからダウンロード

米Oracle社のサイトからダウンロード

戻る

←この二つのどちらかになります

↓



クライアントPC用プログラムのダウンロード

【Java】

Oracle Java8インストール(63.5MB)

【Adobe Acrobat Reader】

Adobe Reader11.0.9インストール(80.8MB)

(Adobe Reader をアドビ・システムズのサイトからダウンロード)

※新しいPCをWeb超財務システムのクライアントとしてご利用になる場合、設定が必要になります。
参考資料をご覧の上、設定をお願いいたします。

[ログイン画面に戻る]



そのまま実行するとインストールが実行されます。
保存を実行するとダウンロードフォルダに保存されます。
保存の下向き矢印を押すと、名前をつけて保存が可能です。

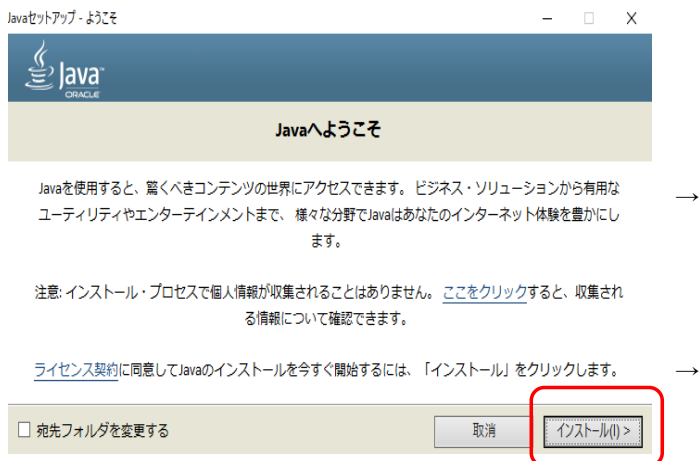
192.168.2.191 から jre-8u201-windows-i586.exe (63.5 MB) を実行または保存しますか？

実行(R)

保存(S)

キャンセル(C)

変更を加えますか？などはすべて はい または 実行 をお願いします。（インストールが進みません）



Javaへようこそ

Javaを使用すると、驚くべきコンテンツの世界にアクセスできます。ビジネス・ソリューションから有用なユーティリティやエンターテインメントまで、様々な分野でJavaはあなたのインターネット体験を豊かにします。

注意: インストール・プロセスで個人情報が収集されることはありません。ここをクリックすると、収集される情報について確認できます。

ライセンス契約に同意してJavaのインストールを今すぐ開始するには、「インストール」をクリックします。

☐ 宛先フォルダを変更する

取消

インストール(I) >



ライセンス事項の変更

Oracle Java SEロードマップに関する重要な情報

OracleからJava SEの将来のリリースへのアクセスに影響する変更が到着しています。

企業のユーザーは2019年4月になると影響を受けます。

これらの変更は、インストールしようとしているバージョンには影響ありません。

詳細は、下のリンクに従ってください。

詳細情報...

OK

最後にJAVAのバージョンの確認が表示される場合がありますが、これでインストールが完全に完了していることになります。



Javaセキュリティ・プロンプトの復元

「再度表示しない」オプションを選択すると、一部のJavaセキュリティ・プロンプトが表示されなくなります。30日ごとにこれらのプロンプトを復元することで、個人情報に対するセキュリティを向上できます。

詳細情報

☒ Javaセキュリティ・プロンプトの復元

次(N) >



Javaが正常にインストールされました

Javaの更新が可能になると、プロンプトが表示されます。必ず更新をインストールして、パフォーマンスおよびセキュリティの最新の改善を反映させてください。

更新設定の詳細

戻る(B)

閉じる(C)

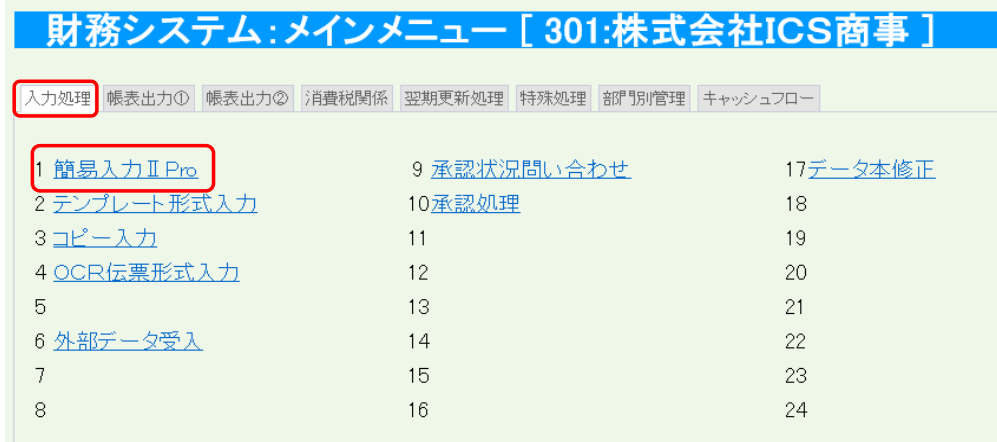
アドオンは有効にしますか？と表示されたら はい または 実行 を選択してください

【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力ⅡProでの障害時の設定】

★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済みサイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・ブロック例外

3. クライアントPCへJAVAインストール

JAVAがインストールされたら、簡易入力ⅡPROを開いて正常にインストールされているか確認してください。



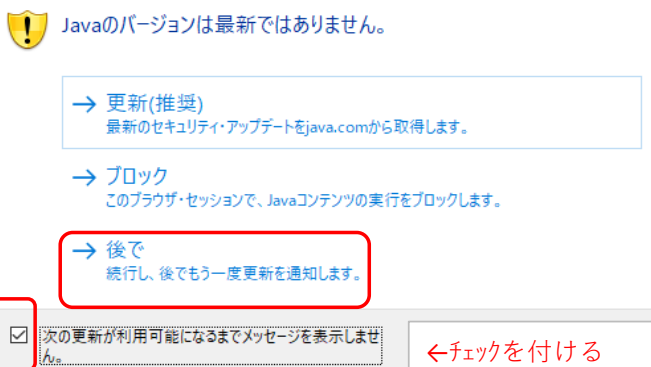
セキュアなネットワーク環境の場合、正しくインストールされないこともございます。その場合、社内のシステム管理者の方にお問合せ頂くかまたは弊社まで連絡の方をお願いします。

JAVAの更新が有効になっているか確認する場合

IE→ツール→アドオンの管理→oracleAmericaInc が有効になっているか確認する

以下の設定にすれば、次回から表示されません

Java Updateが必要



以下の設定にすれば、次回から表示されません



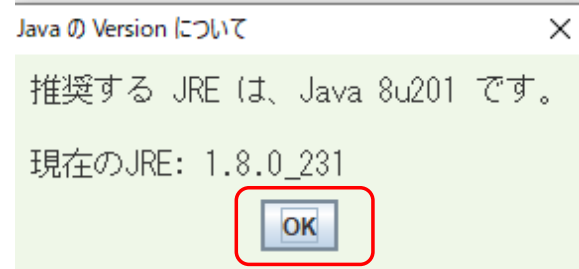
↑チェックを外す

以下の場合、JAVAのバージョンが合っていない。

再度ログインメニューからダウンロードとインストールを実施してください。

WIN7の場合

Java 8 update201 が推奨です。
このメッセージが出たらJAVAのみ再設定してください。



Javaのバージョンを確認しました



正常な設定です。

推奨バージョンのJavaがインストールされています (Version 8 Update 60).

JAVAの更新が有効になっているか確認する場合

IE → ツール → アドオンの管理 → oracleAmericaInc が有効になっているか確認が可能です。

アドオンを有効にしますか？と表示されたら、はい または実行でお願いします。

【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力 II Proでの障害時の設定】

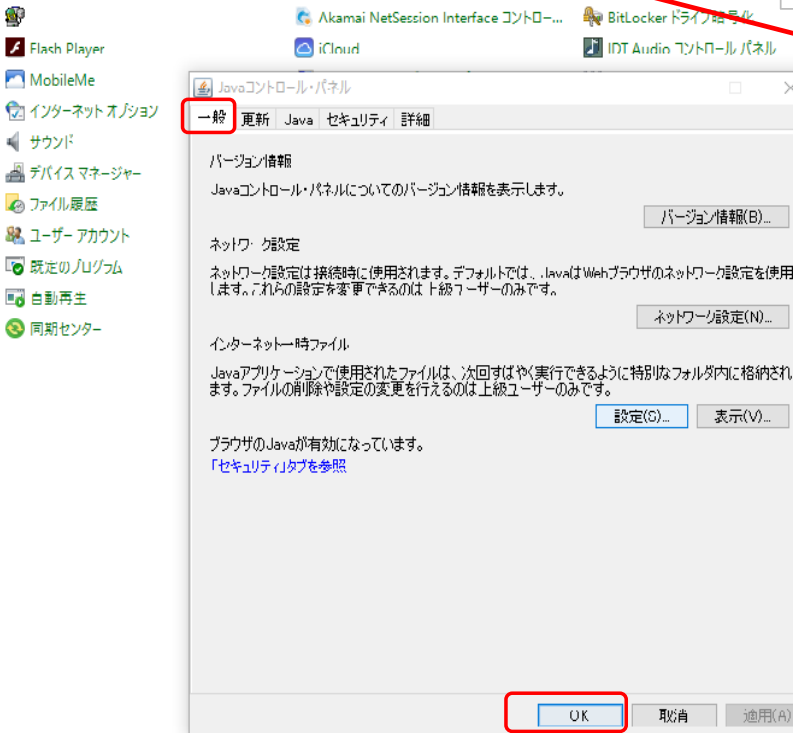
★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済サイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・ブロック例外

4. JAVAのキャッシュの削除（簡易入力 II PROはJAVAが必須です、動作が遅いまたは起動しない時に実施してください）

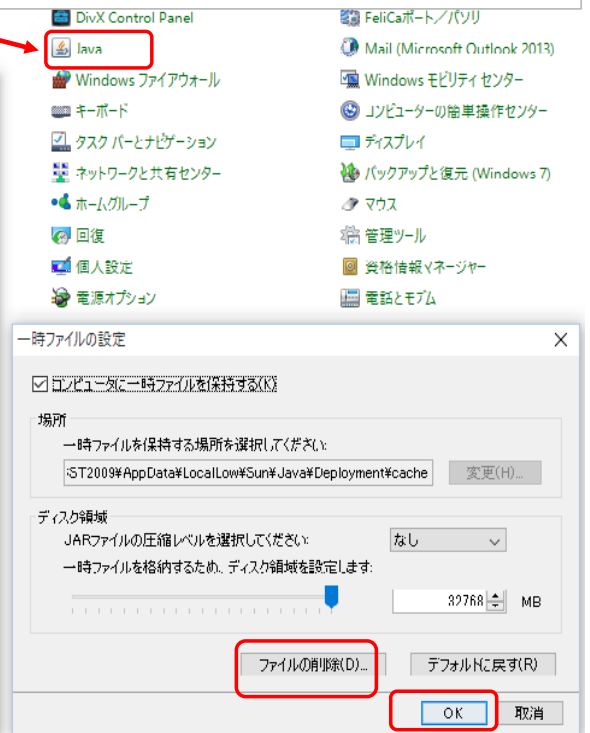
スタート → コントロールパネル → JAVA（一般のタブ） → インターネット一時ファイルの設定 → ファイルの削除

← → ↑ ↓ コントロール パネル > すべてのコントロール パネル項目

コンピュータ の設定を調整します



JAVAをクリック後は下部に小さく表示されている事がありますので、その場合はそちらをクリックで表示されます



5. JAVAの更新を自動的にチェックを外す（自動更新のメッセージ表示が非表示になります。【推奨】）



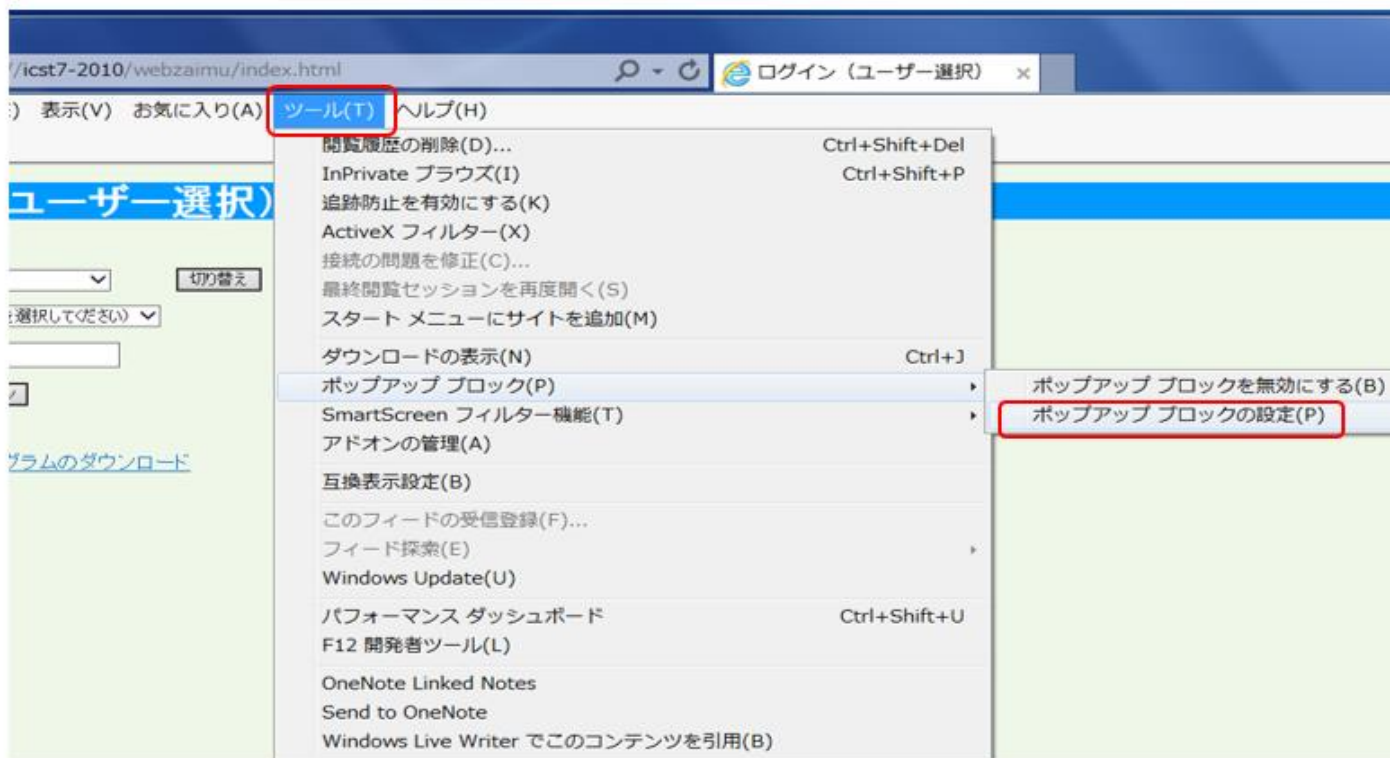
【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力 II Proでの障害時の設定】

★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済みサイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・ブロック例外

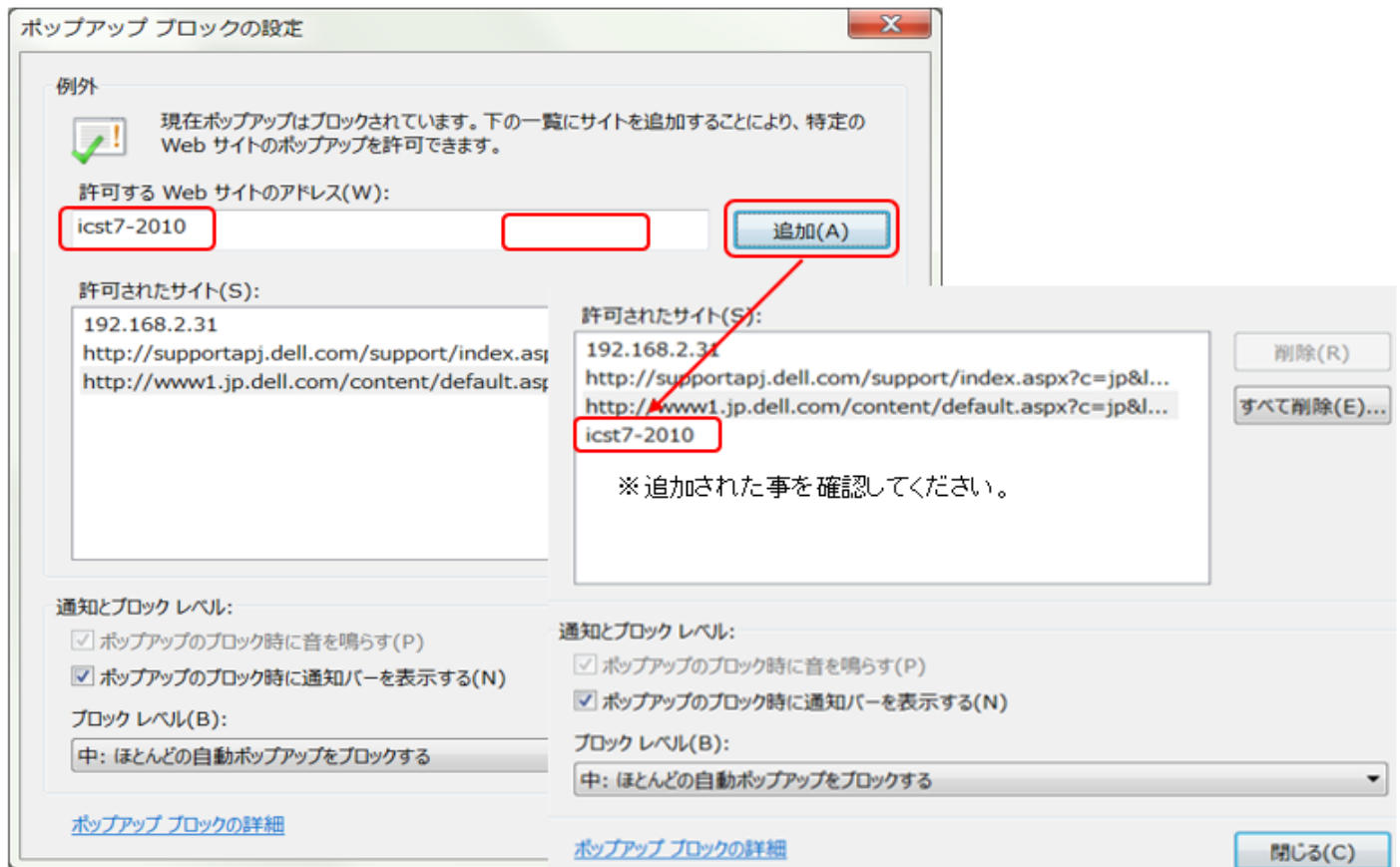
6. ポップアップブロックの設定

★通常、この設定は実施しなくてもよいです。

(1) [ツール]メニューのポップアップブロックの設定を指定してください。



(2) 許可されたサイトの一覧に、ログイン(ユーザー選択)時のアドレスがない場合は、追加してください。



【クライアントPCの入替時の初期設定、及び画面が崩れたり、簡易入力 II Proでの障害時の設定】

★IE起動方法・ページを表示するたびに確認にチェックする・信頼済サイトに追加・互換表示設定に追加・JAVA8U201設定・JAVAチェック・ポップアップ・プロキシ例外

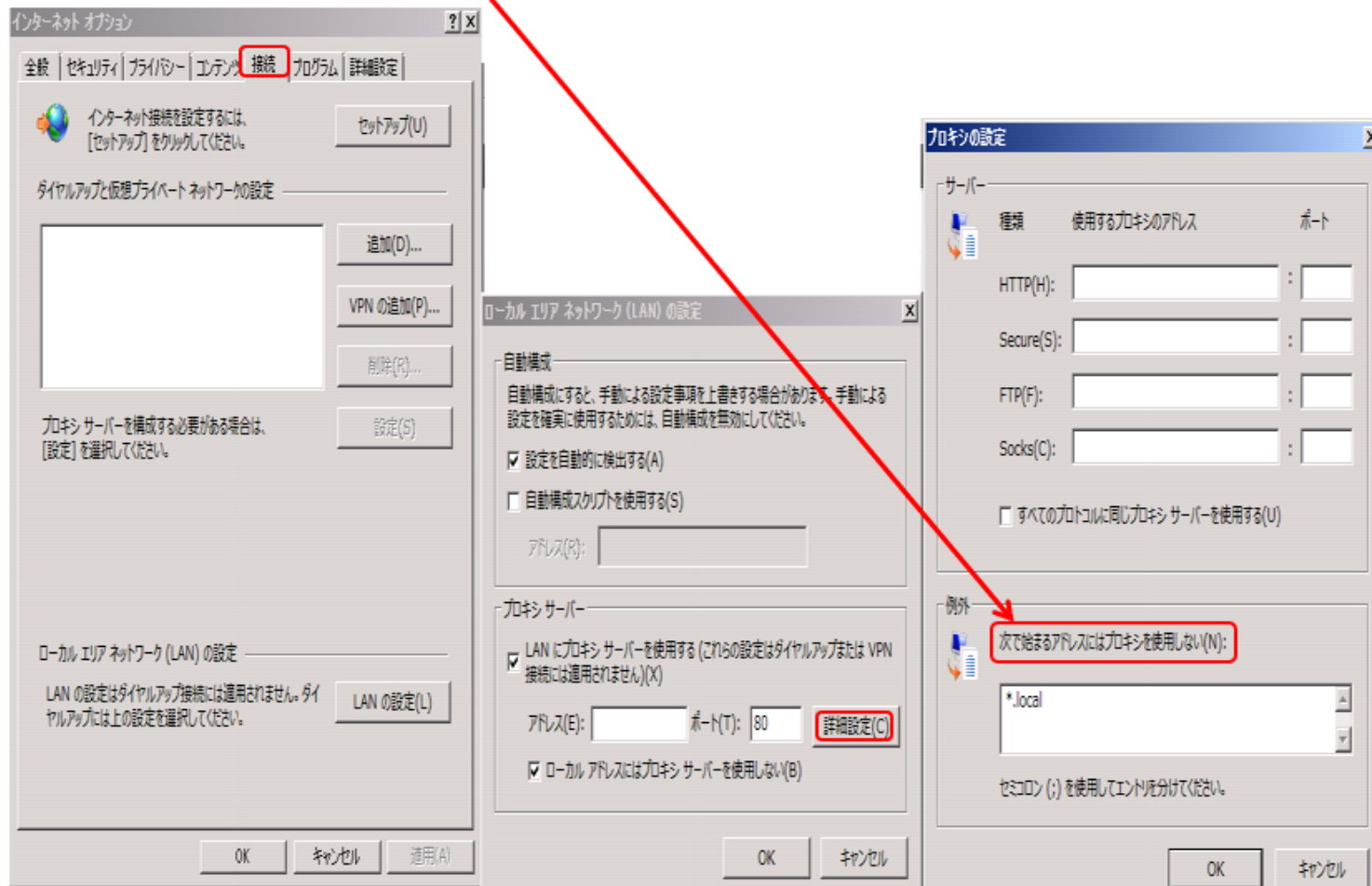
7. プロキシサーバーの中の例外設定

★通常、この設定は実施しなくてもよいです・

(他のサーバーを経由してWEB 会計システムにアクセスさせると動作が遅くなる事など回避させる例外処理)

(1) [インターネットオプション]メニューの接続LANmp設定をクリック、詳細設定をご確認ください。

この設定は、システム管理者および業者の指示に従い実施することをお勧めします。



8. 全般のタブの例外設定 (画面を別々に表示させる、またはタブで表示させる設定)の確認

★必要に応じて設定してください

